

第3回 松山空港将来ビジョン検討会 議事要旨

〔日時：令和2年6月17日（水）13：00～
〔場所：愛媛県庁第2別館大会議室

1 開 会

2 開会あいさつ

3 議 事

(1) 国際線旅客ビルの内部配置イメージについて

事務局より、国際線旅客ビルの内部配置イメージについて説明。

(主な意見)

<CIQ関係>

- ・案4の場合、第1段階整備時は暫定供用となるため、現況よりも混雑が緩和されるように、設計時には検討をお願いしたい。
- ・具体的な設計段階となりましたら、いろいろと要望させていただきたいため、調整等をお願いしたい。
- ・今般の新型コロナウイルス感染症のこともあり、今後どのような検疫体制となるか未定ではあるが、検疫体制の強化に向け調整をお願いしたい。
- ・利用者等の動線や施設配置について、関係機関と十分に調整をお願いしたい。

<空港関係>

- ・空港内において、もっと愛媛県の特産品等を取り扱うなど、買い物を楽しむことができる規模の施設配置の検討をお願いしたい。
- ・出国待合室を大きくするのであれば、搭乗者が搭乗ゲートに並ぶスペースについても検討をお願いしたい。
- ・案4の場合、第1段階は暫定供用であることから、オペレーターの観点からすると機能が十分でないため、利用者の利便性を損なわないように、最大限の工夫を検討したい。
- ・利用者の動線をいかに確保していくかを、松山空港ビル(株)をはじめ関係機関と一緒に検討したい。

(2) 国内線旅客ビルの機能拡充について

事務局より、国内線旅客ビルの機能拡充について説明。

(主な意見)

<空港関係>

- ・松山空港の将来目標案である、令和16年度の国内線年間利用者数347万人という数字は、目指していくべき目標であると理解しているが、新型コロナウイルスの影響や今後の社会経済情勢を鑑みると、エアラインとしては、改めて大きな目標であると感じている。我々としても、様々な需要動向を見据えてしっかりと進めていけたらと考えている。

(3) 国際線旅客ビルの将来配置計画（案）について

事務局より、国際線旅客ビルの将来配置計画（案）について説明。

(主な意見)

<経済関係>

- ・松山空港が中四国1番の空港として発展していくためには、ビル建替えが良いと思われる。また、国際線旅客ビルの供用開始時期を考えた場合、案4の2段階整備が良いと思われるが、他案に比べ工事費が高くなることについては、県民に対して丁寧に説明する必要があると思う。

<空港関係>

- ・資金計画を考えれば、2段階整備が望ましい。将来の路線拡充を踏まえ、計画どおり順調に進めば良いと思う。

<自治体関係>

- ・経済効果等も踏まえ案4が適当であると思われる。

4 閉 会